

ブラジル国

## エネルギーハーベスティング技術に関する普及・実証事業 株式会社音力発電(神奈川県)

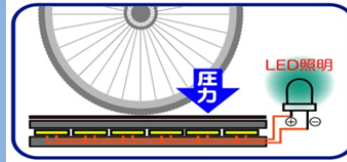
### ブラジル国の開発ニーズ

- 「人間が都市における生活機能の中心である」というコンセプトの下、環境配慮型の都市構築を推進(クリチバ市)
- 環境配慮型技術による自転車道アクセシビリティ向上を企図

### 普及・実証事業の内容

- 「エネルギーハーベスティング技術(発電床)」を整備し、交差点での注意喚起や自転車通行量の測定を行うことで、自転車道の安心・安全の実現およびアクセシビリティ向上に寄与
- 同技術および製品の有効性の実証および「活用メリット」を検証するパイロット事業
- またその成果を広く普及することで同技術がクリチバ市の推し進める「環境配慮型都市構築」に資すると同時に、提案企業のビジネス展開を促進

### 提案企業の技術・製品



#### 製品・技術名

—音や振動など利用されずに無駄になっているエネルギーを周辺環境から“刈り取る”エネルギーハーベスティング技術。および同技術を活用した「発電床」。

—人や自転車が通るときに発生する床の振動を利用して発電を行う床型の発電機。

#### 事業概要

相手国実施機関：  
クリチバ市政府・公共事業局  
(SMOP)

事業期間：  
2017年2月～2018年12月  
(1年11ヵ月間)

事業サイト：  
クリチバ市内自転車道

### ブラジル国側に見込まれる成果

- 環境配慮指標の改善
- 経済的優位性=コストベネフィット
- 持続可能かつ環境配慮型の都市構築構想および計画実現に寄与

### 日本企業側の成果

#### 現状

- ブラジル国にて実施している第三国研修「持続可能な都市管理コース」(2014年度)にて製品・技術を紹介
- 販売代理店などパートナー企業を開拓

#### 今後

- クリチバ市における事業を「ショールーム効果」としてブラジル全土への事業拡大
- 建築物内避難誘導灯など他課題/用途向け展開
- 中南米諸国への展開